

Memorial aos Refugiados e ao Cônsul Aristides Sousa Mendes

について

2017年に落成した難民とアリスティデス・スーザ・メンデス (Aristides Sousa Mendes) 領事の記念碑は、ポルトガルへの入国ビザが命を救ったという最近の閉鎖された国境の過去の記憶を生かしています。ユダヤ人への10,000人を含む、これらの3万人は、第二次世界大戦中にポルドーのポルトガル領事館、アリスティデシュ・デウ・ソウザ・メンデス (1885-1954) によって付与されました。この領事は、1966年にヤド・ヴァシェムによって「諸国民の中の正義」として記憶されました。

この施設は、ホロコーストの恐怖への難民のための中立国への玄関口であったポルトガルの重要な国境の町、ヴィラル・フォルモージ (Vilar Formoso) の鉄道駅に接続された2つの古い倉庫に収容されています。証言によれば、街は歓迎ムードで、移民は、巨大なスープのポット、パン、宿泊施設で歓迎された、と説明しました。鉄道駅の2つの倉庫は、元の断片として設計された両方の建物の外壁の白とは対照的に、暗いボディで接続されています。

6つの展示クラスターが来館者に提示されます。「私たちのような人々」、「悪夢の始まり」、「旅」、「ヴィラル・フォルモージ、平和の境界」、「ポルトガルの地を通り抜ける」、「出発」。最初の倉庫では、ウィーンの街路や公園を歩いたり遊んだりしているユダヤ人の家族の画像を見ることができます。訪問中、ヒトラーが権力を握ってから1933年にポルトガルが移民の大波を受けた1940年まで、ドイツとヨーロッパでの変革を証明するビデオ、写真、テキスト、ポスターがあります。戦時中に存在した唯一の倉庫である第2の倉庫では、淡い青色の壁が、ヴィラル・フォルモージに到達した人々の感情を込めて描かれた青い空を再現しています。

問い合わせ先

Largo da Estação, 6355-272 Vilar Formoso
電話 : +351 271 149 459
Eメール: fronteiradapaz@cm-almeida.pt
ウェブサイト: <https://www.cm-almeida.pt/espacos-municipais/1678-2/memorial/>

バリアフリー案内